



長居検査員。おはようございます。
近年の『不適合工事で特に多かった事例』
について、紹介して頂きたいのですが？

はい。大丈夫ですよ。若井検査員。
不適合工事一覧表については、工事検査課ホームページに掲載していますが、ちなみに、掲載している過去の年度は、
① 平成23～27年度
② 平成28年度
であり、併せて6年間の一覧表を掲載しています。
なお、平成29年度については、8月末までに4件発生し、9月に入ってから、更に、2件発生している状況です。
まもなく、ホームページに掲載しますので、もう少し、お待ち下さい。



それでは、長居検査員、
過去6年間の「不適合工事」発生件数は、
どのようになっていますか。

年度別の「不適合工事」の件数は、
① 平成23年度 → 9件 ④ 平成26年度 → 9件
② 平成24年度 → 8件 ⑤ 平成27年度 → 16件
③ 平成25年度 → 6件 ⑥ 平成28年度 → 11件
と、過去6年間で59件、年平均10件程度となっています。



あれっ。この2年間は、10件以上とかなり多いですね。
黒岩検査員から、これまでに、「不適合工事」事例として、
① 河川堤防等への耳芝の未施工による不適合
② 河川堤防を弱体化させる種子の使用による不適合
③ 現場密度の試験個数不足や未試験による不適合
を紹介して頂きましたが、それらは、ほんの一部ですね。
では、他に『不適合工事で多かった事例』は、何ですか？

信じられないのですが、「出来形」不足です。
社内検査員が検査している施工管理では、全て規格値内なのに、
検査員による実測の結果、“マイナス”の規格値を超えていたため、
出来形不足となった「不適合工事」が、非常に多いです。



それでは、
具体的に、紹介していただけますか？

「道路」関係に多い事例を挙げますと

- ① As・Co舗装工における舗装幅の「出来形」不足
 - ② 路盤工における路盤幅の「出来形」不足
 - ③ As舗装工における測点間延長の「出来形」不足
 - ④ 擁壁工における天端延長の「出来形」不足
 - ⑤ 盛土法面工への張芝や植生ネット法長の「出来形」不足
 - ⑥ As舗装工でのコア採取結果による表層厚の「出来形」不足
 - ⑦ 防護柵工における施工延長の「出来形」不足
- などが、主な「不適合工事」の事例です。



その他には、どのような事例がありますか？

「河川」や「その他」の具体例としては、

- ① 護岸工事における施工延長の「出来形」不足
 - ② シールコンクリートにおける施工延長の「出来形」不足
 - ③ ブロック張工における間仕切を“最小幅10cm”未満の施工
 - ④ 生コンの設計・承諾願規格を満たさない品質の生コン使用
- などかな。



本当に、「不適合工事」の殆どが、「出来形不足」なんですね。受注者は、設計変更のための資料を、監督員に提出し、設計変更に反映しているはずなのに、検査で「出来形不足」とは。不思議です。

やはり、『監督員と現場代理人とのコミュニケーション不足』かな？大震災以降、監督員が多忙なため、現地立会の減少が要因だと思います。やはり、現場主義なので、極力現場等でのコミュニケーションを図り、相互に、「不適合工事」撲滅にも努めて頂きたいものです。



ありがとうございます。では、「不適合工事の事例」は終了し、次回は、「注意・改善したい事例」の続きをお願いします。

わかりました。それでは、次回は、道路等の「現場密度」に関する事例を紹介しましょう。



●本日のポイント

近年、不適合工事が多発し、その多くが、「出来形不足」です。この解消のためには、日々の監督員と現場代理人とのコミュニケーションが重要であり、また、段階確認は机上ではなく、極力、現地立会いにより行われていれば、必然的に、不適合工事発生が抑制されていくと思われます。

【関係資料】

不適合工事一覧表〔H23～H28年度〕

工事検査課ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

【登場人物の設定】

○福島県 出納局 工事検査課



：長居(カ)検査員



：若井(カ)検査員